

2016年度

防災講演会

2016 12/2 (金)

13:30~15:00 [開場13:00]

UDXシアター [秋葉原UDX]

秋葉原駅徒歩2分 ※裏面案内図参照

- 参加対象：どなたでもご参加できます。
- お申込み：裏面のお申込み方法をご覧ください
[2016年11月28日(月)申込締切]

都市型水害 秋葉原

秋葉原×都市型水害 ~豪雨をもっと「早く」、「速く」捉えるために~

メディアは「日本は「地震大国」だ」としきりに報道し、特集も組まれます。一方で地球規模の温暖化現象は、日本にもその牙を向けています。20世紀の終わり頃から、短期間に局所的に降る「集中豪雨」が目立つようになってきました。ここ数年はすっかり「ゲリラ豪雨」なる言葉も定着し、日本全体が亜熱帯気候のようです。温暖化がもたらすこれらの異常気象は、日本が「水害大国」であることの外ならぬ証拠です。

天気予報の歴史は比較的浅く、100年余り前から始まりました。当時は1日の天気予報を、1日以上時間を費やしていたそうですが、現在ではその技術力は格段に進歩し、スーパーコンピュータを使った解析などから、実測に基づいた予測が瞬時に可能となりました。わたしたちも日頃より、メディアやスマートフォンのアプリを使って、様々な情報に触れる機会が増えました。しかし、それらの情報を取得し適切な「行動」を取ることができていますか。“何となく”程度に思うだけで、実際に予防をするまでには至っていないのではないのでしょうか。

「災害」というとその範囲は広大ですが、天気起因する「水害」「雷害」「風害」は比較的予測可能な災害です。前兆さえしっかり捉えることができれば最悪の事態を防ぐことは誰にでも可能なのです。

今回は「秋葉原×都市型水害」と題し、最新の解析データを使いながら、予測のポイント・データの活用方法や雲(積乱雲)発生の仕組みなど、平時から有事まで使える、ためになる話を伺います。

【講師プロフィール】

清水 慎吾 しみずしんご

国立研究開発法人 防災科学技術研究所
水・土砂防災研究部門 主任研究員(理学博士)

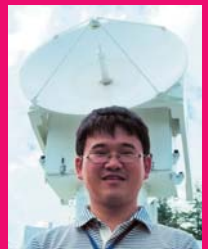
2001年 北海道大学 理学部地球科学科 卒業

2007年 名古屋大学 環境学研究所
地球水循環研究センター 博士課程修了

1977年 鹿児島県生まれ。小学校から高校まで東京都府中市で育つ。小学生時、富士山登山の折、実際に“雲をつかむ”体験をし、気象に興味をもつ。高校1年時の1年間毎日かかさず「ラジオ気象通報」を聴き、自ら天気図を書く。“なぜ低気圧が発達するのか?”など

高校物理ではわからないことに興味をもち、一層気象学へのあこがれを強める。大学、大学院の研究テーマとして、積乱雲の観測手法や予測手法を学ぶ。

のち、防災科学技術研究所に入所し、現在、積乱雲の予測技術の開発を行う。



参加
無料
事前申込必要

秋葉原駅周辺地区帰宅困難者対策地域協力会 2016年度 防災講演会

会場

UDXシアター [定員: 150名]

〒101-0021 東京都千代田区外神田4-14-1 秋葉原UDX 4F

TEL 03-3254-8421

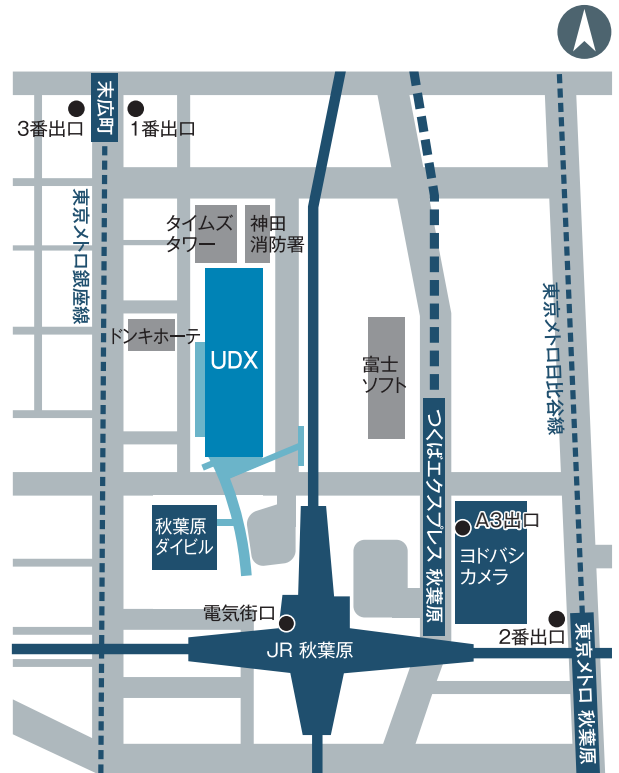
【交通】

- ◎ JR山手線/京浜東北線/総武線「秋葉原駅」電気街口 徒歩2分
- ◎ 東京メトロ日比谷線「秋葉原駅」2番出口 徒歩4分
- ◎ 東京メトロ銀座線「末広町駅」1・3番出口 徒歩3分
- ◎ つくばエクスプレス「秋葉原駅」A3出口 徒歩3分

お申込み方法

下記申込書に必要事項をご記入の上、FAXまたはE-mailによりお申し込みください。E-mailの場合は、申込事項を明記のうえ、件名を「防災講演会申込」としてください。FAX・E-mail送信をもって受付とさせていただきます。なお、定員(150名)を超えた場合のみご連絡させていただきます。当日は、申込書(E-mailの場合は送信文をプリントアウトしたもの)を持参し、受付時にご提示ください。

2016年 11月 28日(月) 締切り



申 込 書

【宛先】秋葉原駅周辺地区帰宅困難者対策地域協力会 事務局 行

団体名	フリガナ
所属/役職	
氏名	フリガナ
所在地	〒 ー
電話	
FAX	
E-mail	

FAXでのお申込みは

03 5294 3308 FAXでお申込みの方は、当日申込書をご持参ください

Eメールでのお申込みは

kitaku@akibatmo.jp

●お問合せ先：秋葉原駅周辺地区帰宅困難者対策地域協力会事務局 秋葉原タウンマネジメント(株) TEL 03-6383-3033